

## 指標の設定について

4 社会の変化等に対応した学びやすい環境づくりの推進		
(1) ICT の活用と学習情報の提供 (2) 学習成果の発表と活用の場の提供 (3) 関係機関等の連携・強化		
指標名	現況値	目標値 (R12 年度)
オンラインを活用した生涯学習講座数	<参考値> 14 市の R2 年度 の実績値 11 件	100 件 (仮) ※ R3 年度の実績等を勘案し改 めて設定する。

## (1) 指標設定の理由

- 中央教育審議会生涯学習分科会において、リアルとオンラインの双方で、住民が相互に「つながり」を持てる共同学習・交流を促進するとされている。
- 令和3年度第3回生涯学習審議会において、オンラインを活用した生涯学習講座数の指標を加えることになり、令和3年度の実績値をもとに目標値を設定することになった。

## (2) 目標値の考え方

- 59 市町村において、今後もデジタル化が進展することで生涯学習講座においてもオンライン活用が増加していくことが考えられる。R2 年度から R3 年度は 15 件から 54 件と 39 件伸びている。R4 年度は 12 月時点で 40 件であったので年 50 件を見込むものとする、R3 年度から R4 年度は 54 件から 50 件と 4 件減ることとなる。2 年間で 35 件伸びていることから、50 件を現況値として 1 年間に  $17.5 \div 15$  件増加することとして目標値を設定する。
- デジタルデバイドの解消に向け、ICT に関する講座を開催している市町村もある。  
10 自治体
- 県デジタル化推進計画において、市町村のデジタル化を支援し促進することとしていることを踏まえ、時間を問わず学べるオンラインコンテンツの活用が進展することが予想されるが、市町村における企画担当者のスキル向上の伸びを考慮し、上記の伸び率で普及するものとして目標値を設定する。
- なお、県デジタル化推進計画が R7 年度までの計画となっているため、本指標も R7 年度に見直すこととする。

指標名	現況値	目標値 (R12 年度)
オンラインを活用した生涯学習講座数	R4 年度 50 件	170 件